

令和元年度 在宅医療・介護連携推進事業の取組状況

*赤字は新規取組み

事業項目	取組み	備考
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	<p>◇石巻市在宅医療・介護ウェブサイト内「医療介護連携基本情報」の一般公開 ・市報・ホームページ・出前講座・チラシで周知 ・月次でアクセス数を把握 →1, 161件（一般466件 医療介護者703件）</p> <p>◇「介護関係者に対して」 ・ウェブサイトの活用PR →研修会参加者にウェブサイトに関するアンケートを実施し、「ログインしない理由」の大半が「存在を知らなかった」であり、周知不足を把握した。</p> <p>◇「医療関係者に対して」 ・ウェブサイト未登録機関の登録促進及び掲載情報の更新等 →4月から随時受付対応 登録機関数 217/275カ所（78.9%）</p>	11月末現在
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	<p>◇「多職種連携・在宅医療（ケア）体制構築検討部会」での協議（再掲） →令和2年度からは、「在宅医療・介護連携推進会議」へ移行。</p>	
(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	<p>◇在宅療養を支える多職種の連携の強化（医療・介護関係者の顔の見える関係づくり、情報共有のための支援） →令和元年9月から2か月に1回、石巻市立病院地域医療支援センターとの情報交換会実施</p> <p>◇石巻市医師会による在宅医師のバックアップ体制の構築</p> <p>◇石巻市立病院における在宅療養者の容態急変時のバックアップベッドの運用</p>	
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援	<p>◇医療機関と介護職との入退院時の情報共有体制について ①保険証カバーの配布継続 ②「入退院時の院内担当窓口」一覧表の配布継続 ③「石巻圏域の入退院時情報連携の手引き」による周知（入退院時の加算等情報共有）</p> <p>◇石巻市医師会が主体となったICT導入による医療・介護関係者間の情報共有</p>	
(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援	<p>◇医療・介護専門職のための「在宅医療・介護連携相談窓口」の周知 →地域包括支援センター・関係団体等から、訪問診療できる医療機関や介護事業所の協力医師に関する相談等</p> <p>①生活困窮者自立支援事業における相談会からの繋ぎ ②多機関協働による包括的支援体制構築事業（「福祉まるごと相談」）からの繋ぎ</p>	
(カ) 医療・介護関係者の研修	<p>①多職種連携いろいろカフェ：年3回 →7月12日（金） 24名参加 12月13日（金） 19名参加 2月14日（金）</p> <p>②地域の医療職及び介護職の相互研修（交流会）：年3回 →8月29日（木） 126名参加 10月23日（水） 63名参加 1月31日（金）</p>	別紙1 別紙2
(キ) 地域住民への普及啓発	<p>◇関係課及び支所等と連携した「地域包括ケアシステム」「在宅医療」に関する出前講座の実施 →43回 1,571人</p> <p>◇外部講師（医療従事者）による「在宅医療」に関する講話（公民館とタイアップ）</p> <p>◇在宅医療に関するパンフレットの活用</p> <p>◇市報等へ掲載</p>	別紙3 12月末現在
(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	<p>◇東部保健福祉事務所と石巻市の共催（連携）による地域の医療職及び介護職の相互研修（交流会）（再掲）</p>	

